

【企業概要】

創 業：1970年（昭和45年）

代 表 者：代表取締役社長 黒川 肇一

従業員数：1,161名（2026年4月1日現在）

事業内容：

火力・水力・原子力発電設備の建設・保守点検
送電・変電設備の施工・維持管理
環境・エネルギー設備の設計・建設
再生可能エネルギー事業 等



本店社屋（高松市上之町）

【企業紹介】

当社は創業以来、四国電力グループの一員として発電・変電設備の建設・保守点検等を担い、電力の安定供給に貢献してきました。

長年培った技術力を基に「総合エンジニアリング企業」として機械、プラント、電気、原子力、情報通信、土木建築などの分野へ事業展開しています。

また、再生可能エネルギーや関連設備、新分野にも果敢に挑戦し、社会と地域の発展に寄与して参ります。



風力発電所建設工事

【安全衛生活動】**① 安全最優先を基本とした適正な事業運営**

法令ならびに社内基準の遵守を徹底し、安全を最優先とする事業運営を実践しています。働く人の生命と健康を守ることを企業の基本的責務と捉え、安心して働ける現場環境の確保を通じて、労働災害の防止と信頼される企業活動の実現に努めています。

② 予防を重視した継続的な安全衛生活動の推進

教育訓練、現場巡視、リスクアセスメントを継続的に実施し、災害の未然防止に取り組んでいます。特に高リスク作業や非正常作業においては、計画段階から危険要因を把握し、適切な対策を講じることで、安全水準の向上と持続的な職場環境の整備を図っています。

③ 協力会社と連携した実効性ある安全文化の醸成

協力会社との協議会活動、合同パトロール、情報共有等を通じて、一体的な安全衛生活動を推進しています。自社のみならず、関係するすべての人々の安全確保を重視し、相互理解と連携のもとで、地域社会から信頼される健全で実効性ある安全文化の醸成に努めています。



定期的に安全パトロールを実施